

平成24年2月3日

各 位

会社名 日本サード・パーティ株式会社
代表者名 代表取締役社長 森 和昭
(JASDAQコード番号:2488)
問合せ先 取締役事業戦略室担当 佐伯 康雄
(電話 03-6408-2488)

ベラルーシ共和国と第一回放射能対策事業推進会議開催

日本サード・パーティ株式会社(略称:JTP)(本社:東京都品川区北品川 4-7-35 御殿山トラストタワー)は、平成24年1月16日に駐日ベラルーシ共和国大使館と締結した『放射能対策事業推進に関する協定書』に基づき、ベラルーシ共和国におけるチェルノブイリ事故に関わる放射能対策の最高責任者:ウラジミール・チェルニコフ緊急省副大臣(チェルノブイリ原発事故委員会委員長兼任)と駐日ベラルーシ共和国大使館:セルゲイ・ラハマノフ大使、並びに一般社団法人行政刷新研究機構と次の通り、第一回放射能対策事業推進会議を開催しました。

議事概要

1 開会

駐日ベラルーシ共和国大使館 セルゲイ・ラハマノフ大使
開会挨拶とウラジミール・チェルニコフ副大臣の紹介

2 議事

2.1「JTPの放射能対策事業推進状況報告」

- ①放射能プレミアムドックセンター」の『フランチャイズシステム』による福島をはじめとした全国の原子力発電所所在市町村(15ヶ所)など全国 50 拠点での開設準備状況
- ②ホールボディカウンターによる内部被ばく検査、食品放射能汚染検査機器などの検査オペレータの認定制度と認定オペレータ 1,000 名の教育コース開催と育成状況
- ③リアルタイムの土壌汚染・空間線量の情報・マップ配信サービス『DoseNEWSセンター』の開設準備状況

2.2「一般社団法人行政刷新研究機構(略称:GGi)の活動状況報告」

- ①国際的な知見・技術・制度・基準値などの政府・地方自治体・行政時関係機関・マスコミへの情報提供サービス『放射能情報センター』の開設準備状況
・ベラルーシ共和国、ウクライナ(チェルノブイリ)の政府・行政機関・技術・医療などの主要キーマンとの定期的な交流、情報、意見交換による情報収集体制

- ・ベラルーシ共和国、ウクライナ(チェルノブイリ)における各種(医療、幼児、子供、食品、土壌など)対策・技術・制度・基準値などの情報収集体制
- ②放射能汚染対策に関する各種情報発信状況
 - ・放射能プレミアムドックにおける検査実績と分析結果情報
 - ・マスコミ向けへの継続的な情報提供
- ③放射能汚染対策研究会のチェルノブイリ視察日程(3月18日～22日)
 - ・資料別添:ベラルーシ共和国における放射能汚染対策研究チェルノブイリ発電所視察

2.3「放射能対策事業推進に伴う、ベラルーシ共和国への協力要請」

- ①ベラルーシ共和国側の「技術」に関する相談窓口の開設と定期的な交流、情報、意見交換の実施
- ②ベラルーシ共和国側の「被ばく医療」に関する相談窓口の定期的な交流、情報、意見交換の実施
- ③『DoseNEWSセンター』に対するGPS機能付機器、配信システム(日本語化を含む)開発の促進などの協力
- ④『放射能情報センター』に対するベラルーシ共和国側との情報連携
- ⑤最先端の技術による放射能関連機器の開発促進と紹介

2.4「ベラルーシ共和国並びに駐日ベラルーシ共和国大使館の活動報告」

- ①前項 2.3 の要請事項におけるJTPとGGiに対するベラルーシ共和国側の「技術」、「被ばく医療」に関してベラルーシ共和国として全面的な支援の実行と定期的な交流、情報、意見交換を行う専門チームの編成
- ②JTPが開設する『DoseNEWSセンター』に対する協力体制構築
- ③GGiが開設する『放射能情報センター』に対する協力体制
- ④GGi 放射能汚染対策研究会のチェルノブイリ視察(3月18日～22日)に対する、ベラルーシ共和国政府(チェルノブイリ事故対策委員会、国立科学アカデミーなど)並びにウクライナ政府の協力の受入体制の準備状況

3 閉会

日本サード・パーティ株式会社 代表取締役社長 森 和昭
閉会挨拶

以上

一般社団法人 行政刷新研究機構

放射能汚染対策研究会 主催

ベラルーシ共和国における放射能汚染対策研究

チェルノブイリ発電所視察 行程(案)

ミンスク/チェルノブイリ 3泊5日

日次	月日(曜)	地名	現地時間	交通機関	行程	食事
1	3/18 (日)	東京(成田)発 モスクワ着	12:00 17:10	SU582 専用車	空路モスクワへ 着後:現地係員の出迎えを受けホテルへ ＜モスクワ泊＞	機中 夕:○
2	3/19 (月)	モスクワ ミンスク	9:20 9:40	SU189 専用車	空路ミンスクへ 着後、ミンスク会議 ●ATOMTEX、POLIMASTER社工場視察 ●ベラルーシ国立科学アカデミー放射線生物研究所 所長講演 ●ベラルーシ共和国行政機関、研究機関の有識者を交えた ラウンドテーブル＜ミンスク泊＞	朝:○ (CB) 昼:○ 夕:○
3	3/20 (火)	ミンスク	終日	専用車	チェルノブイリ視察等 ●チェルノブイリ市街視察 ●チェルノブイリ発電所視察 冷却棟-3/4号炉-管理棟-石棺展望パビリオン等(所長/副所長) ●プリピャチ市視察 ＜ミンスク泊＞	朝:○ (CB) 昼:○ 夕:× (フリー)
4	3/21 (水)	ミンスク モスクワ	10:30 12:50 20:00	SU190 SU575	空路モスクワへ 着後、モスクワ会議 ●Doza社とのラウンドテーブル 空路成田へ	朝:○ (CB) 昼:○ 夕:機中
5	3/22 (木)	東京(成田)着	10:20		通関後解散	

ご注意:この行程は2010年12月1日現在の運行予定スケジュールを基準としております。

CBはコンチネンタルブレイクファストです。